

2026年2月4日

株式会社 マルエツ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



マルエツのフードドライブ活動 新たに2店舗でスタート 活動店舗は128店舗に拡大

マルエツでは、「社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会」のご協力のもと、2月5日(木)から平間店および京町店にてフードドライブ活動を開始いたします。

2店舗での開始により、当社でのフードドライブ実施店舗は128店舗に拡大します。



「[社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会](#)」
オリジナルキャラクター:ななふく

当社におけるフードドライブ活動は、ご家庭で使いきれない食品をお客さまから寄付していただき、社会福祉協議会やNPO法人などのフードバンク団体、自治体を通じて、支援を必要とされている施設や団体、子ども食堂、ご家庭などにお届けする取り組みです。

お客様から「フードドライブ」活動へのご理解と、より一層のご支援を得られるよう、店内に当社オリジナルの食品寄付ボックスを常設しております。

これまでにお預かりした、累計259,401点(2026年1月時点)の食品は、連携先を通じて支援を必要とされている方々へお届けしました。



当社オリジナルの食品寄付ボックス

※マルエツのフードドライブ活動の詳細は、HPをご確認ください。

<https://www.maruetsu.co.jp/sustainability/fooddrive/#shikumi>

マルエツは、将来、わたしたちが目指す姿を《ありたい姿》として明文化し、活動指針としています。

《ありたい姿》

ブランドメッセージである「しあわせいかつ。」をもとに、
お客さま、従業員、そして地域の暮らしを支える「いちばん近い存在」に
なりたいという想いが込められています。

しあわせのいちばん近くに

新鮮・おいしい・健康を、もっと身近に
人や地域とのつながりを、もっと身近に
居心地の良いほっとする場を、もっと身近に

マルエツなら、わたしの“ほしい”が見つかる
マルエツには、みんなの“笑顔”があふれている

ふだんの暮らしの中に
ちょっぴりしあわせな気持ちを
しあわせいかつ。

ペゴニアの花言葉：「親切」「幸福な日々」